

10月3日(土)

霧島市国分キャンプ海水浴場



霧島市花火大会

問い合わせ先

霧島市花火大会実行委員会
霧島商工会議所内
☎0995 (45) 0313

市制施行10周年を記念して開催。フルカラーレーザーと音楽の演出による打ち上げ花火約8,000発が秋の夜空を彩ります。ステージの「プレ国民文化祭30日前イベント」では、霧島九面太鼓や地元のガールズユニットKSGが会場を盛り上げます。

10月11日(日)

湧水町相撲道場



第11回湧水町 豊祭相撲大会

問い合わせ先

湧水町教育委員会生涯学習課
☎0995 (75) 2142

相撲を通じて青少年の健全育成と文化の灯を守っていくため、小学生から一般までの選手約180人が参加する豊祭相撲大会が開催されます。団体戦や学年別個人戦など迫力のある取り組みをぜひご覧ください。

10月17日(土)

日置市立日吉中学校グラウンド



ひおき秋まつり

問い合わせ先

日置市商工会
☎099 (272) 2222

楽しいステージイベントや中学生によるバザー、子ども向けのゲーム大会、お楽しみ抽選会など楽しい催しもあります。なんとと言ってもグラウンド横から打ち上がる3,000発の花火は迫力満点で豪快に秋の夜空を彩ります。

EVENTS INFORMATION

イ ベ ン ト 情 報

2015年

9~11月

SEPTEMBER
NOVEMBER



9月5日(土)~10月12日(月)

肝付町内加盟店



えっがね祭り

問い合わせ先

えっがね祭り実行委員会
☎0994 (67) 2888

9月5日~10月12日の期間に、加盟飲食店で各店オリジナルの「えっがね定食」が4,000円の統一料金で提供されます。また9月20日之内の浦漁港でのイベントでは、伊勢海老の直売や味噌汁無料配布、地元特産品販売、伊勢海老に関するさまざまなアトラクションが行われます。

9月22日(火)

薩摩川内市国道3号(向田側)



川内大綱引

問い合わせ先

川内大綱引保存会
☎0996 (21) 1851

400年以上も続く伝統行事。重さ7t、長さ365mの大綱作りは、当日の朝から綱練りが始まり、一見の価値があります。ダン木祭りなどの後、一番太鼓の合図を皮切りに、迫力ある押し隊による押し合いと、同時に引き合いも開始。沿道の観客の熱気も一気に上がります。

広告

11月1日(日)

指宿商業高校体育館



第26回指商デパート

問い合わせ先

指宿商業高校
☎0993(25)2204

生徒自らが仕入れ、販売、決算までを担当する実践学習。コンビニと共同開発したお菓子や韓国物産などを、生徒たちが元気に販売します。また、地元食材を使った本格フレンチレストランも出店予定。

11月7日(土)～8日(日)

いちき串木野市西薩町



いちき串木野づくし産業まつり ～地かえて祭り～

問い合わせ先

いちき串木野市役所水産商工課
☎0996(32)3111

市制施行10周年の記念の年。会場では、「うんまかもんフェスティバル」に加え、国民文化祭「食の祭典」も同時開催。「食のまちいちき串木野」の総力を結集した魅力満載の産業祭です。

11月8日(日)

さつま町宮之城総合運動公園内特設会場



第11回 さつまフェスタ

問い合わせ先

さつまフェスタ実行委員会事務局
☎0996(53)1111

新鮮な農林産物や特産品などの展示販売が行われ、青森県鶴田町のりんごも販売される。今年は、国民文化祭さつま町主催事業「ゆるキャラ®&大鍋フェスタ」や「郷土芸能祭」と同時開催。さつまの秋を味わいに、家族や友人と出かけてみては。

広告

10月17日(土)～11月15日(日)

長島町太陽の里ピクニック広場



長島町造形美術展 ～アートの島の玉手箱～

問い合わせ先

第30回国民文化祭
長島町実行委員会
☎0996(88)6500

2年に1度開催される「ながしま造形美術展」は、地域の方々や各団体が、自然の身近な素材を利用し、造形物を製作。1m・3m・5m超級のアートが皆さんを迎えます。この機会に一度、壮大な芸術作品に触れてみては。

10月18日(日)

南さつま市笠沙公園グラウンド



第28回マリンランド 笠沙フェスタ

問い合わせ先

マリンランド笠沙フェスタ
実行委員会事務局
☎0993(63)1111

漁船パレード・ドラゴンボート競争・ブリのつかみ取りやお楽しみ抽選会などが行われます。特に、迫力のあるドラゴンボート競走や、水しぶきを上げて子ども達が魚を追いかけ回るブリのつかみ取りは大人気。

10月21日(水)

瀬戸内町大屯神社



諸鈍シバヤ

問い合わせ先

瀬戸内町教育委員会社会教育課
☎0997(72)2905

源平の戦いに敗れた平資盛一行が、地域に住む人々との交流を深めるために伝えたのが始まりといわれている。紙面と陣笠風の笠をかぶり、三味線と囃子に合わせて演じるさまは一見の価値あり。この機会に、家族や友人と足を運んでみては。